

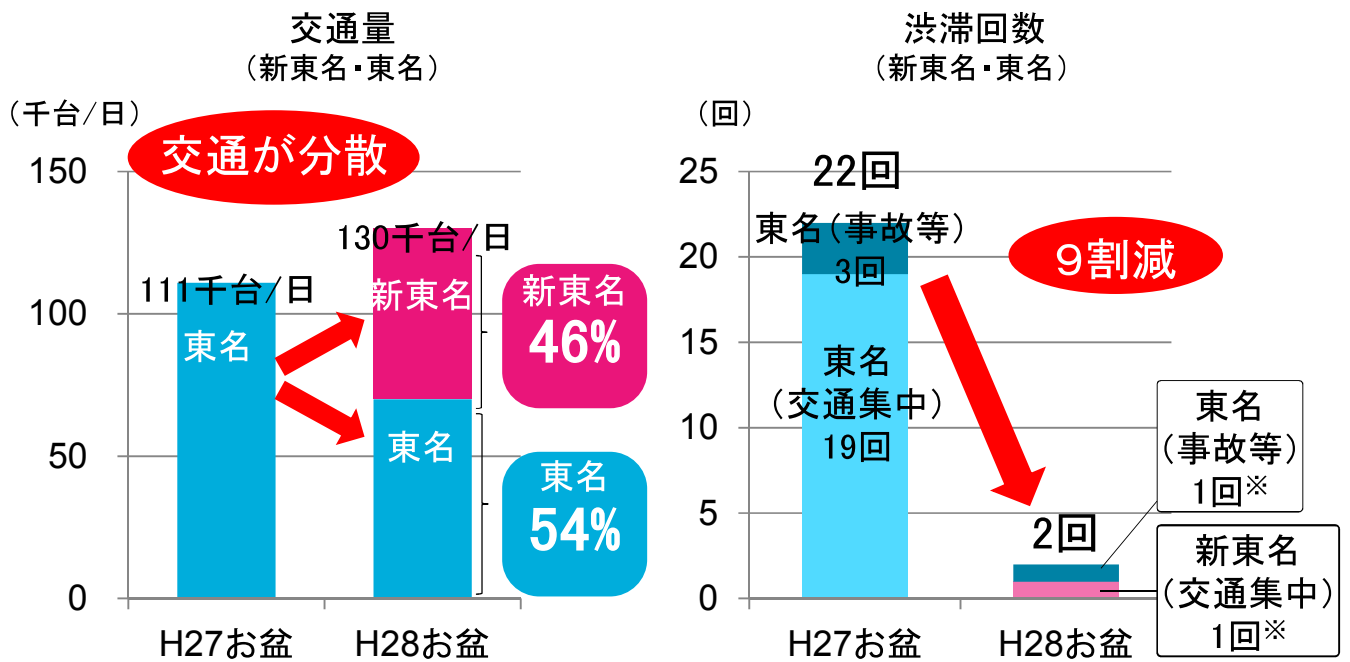
《参考》 新東名のストック効果(お盆期間の渋滞状況)

- 新東名(豊田東JCT~浜松いなさJCT)の開通により、東名の交通が分散(東名:54%、新東名46%)
- 東名・新東名の交通量は、約130,000台で、昨年同時期に比べ17%増加したが、10km以上の渋滞回数は、大幅に減少
(H27お盆 22回→H28お盆2回(うち東名:1回・新東名:1回)【9割減】)

■新東名・東名高速道路 位置図



■新東名開通後の交通量・渋滞回数〔お盆期間〕



※ 新東名の交通集中渋滞は、同日(8/13)に東名で発生した事故渋滞に伴う迂回交通によるもの
(注) 渋滞の定義〔お盆期間〕: 速度40km/h以下の状態が、1km以上かつ15分継続した状況で最大渋滞長が10km以上